

五六八 祭連

いろは
まづら

結成：平成10年

受賞歴：独眼竜政宗賞5連覇を含む総計
13回の受賞

子すずめ部門では「いちご雀夢」のまさ
むね賞8連覇を含む総計32回の受賞

囃子方を持たずに青葉まつりに参加していた子供たちのために、
お囃子未経験の父兄らが自ら囃子方となって加わり、新たに祭連
を結成したのが始まりです。



法被は銀鼠色に白抜き紋。衣装はそれぞれ
の個性を活かして自由に着用していま
す。子供たちの美しさを引き立て、品良
く、また集団で演舞をした際にも美しく
見えるようにと考へて法被の色を選びま
した。法被の柄(紋)は、会員から図案を募
集し、祭連のイメージに合うものを選び
決定したものです。



白扇に、いちごピンク／萌黄色。
新緑の青葉が美しい季節に映える色、
衣装や法被が映える色として選びまし
た。

祭連発足当時、会員には子供たちが多かったので、
“広く皆に愛されるように”と、伊達政宗と愛姫の
娘である「五郎八姫」にあやかって、五六八祭連
と命名しました。

祭連結成当初の子供たちが成長し、それぞれの道
に歩みを進め、仙台を離れることで会員数が減っ
ていく中、コロナ禍の追い打ちもあり、活動が出来
ないのが現状です。

今後は、年齢層や形態は変わって行きますが、五
六八祭連の精神でもある親子間の親睦を大切に、
伝統芸能の伝承と普及に努めて行きたいと思っ
ています。

